

2022(令和4)年度事業計画書

NPO法人兵庫県暮らしにやさしい防災・減災

1 事業実施の方針

これまで、「自助」意識の向上と災害予防活動を行ってきたが、人々は正常性バイアスによる偏見や無関心などで防災・減災の大切な情報が広く行き渡らない状況が多く見られる。

また、日ごろの生活や経済事情などで余裕がないためか防災を他人事と捉えたり災害に対する「備え」を先延ばしにしており、必要な備えさえもできていないのが現状ではないかと危惧される。

さらに長引くコロナ禍で自粛ムードのため活動に制限があり、防災の意識の向上も望めない見通しが続いている。

しかしながら今年の4月から神戸市消防局がBOKOMI サポーター(神戸市内に約200ある防災・福祉コミュニティの支援者)の立派な宣伝チラシを作成・配布しておりコロナ後には啓発活動が活発になるかもしれない。加えて、テレビ会議や動画配信によるコープこうべの会員・子どもたちへの防災体験学習も予定されている。また、コロナ禍の現在は部外者を一切受け入れていない小学校での芦屋市キッズスクエア指導員としての活動も再開されれば、阪神大震災の経験などを含めた話と「防災かるた」などの教材による防災啓発活動などを粘り強く行ない、災害文化を築くため以下のことに引き続き力を注ぐ方針である。

- (1) 防災意識の向上をめざした講演活動を行い、学校や地域等との連携をさらに進める。
- (2) 良質の防災教材の更新などと提供によりさらに信頼を得ることに重点を置く。

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数	支出見込み 額(千円)
高齢者など、災害弱者の暮らしを支援する事業	高齢者など、災害弱者の防災・減災に関する支援	通年	兵庫県内	3人	兵庫県内の高齢者、障がい者、子どもたち20人	8
まちづくりと商店街の活性化及び地域力を高める事業	地元のお店街などとの連携によるネットワークづくり	通年	神戸市内及び芦屋市内	2人	神戸市内及び芦屋市内などの商店主5人	2
環境の保全と防災・減災等に関する連携事業	環境グループとの連携によるネットワークづくり	通年	神戸市内及び芦屋市内	2人	神戸市内及び芦屋市内などの環境グループ会員等6人	0
災害救援と災害予防の普及啓発事業	防災・減災のための教材製作と普及啓発活動	通年	兵庫県内	2人	兵庫県内の高齢者、障がい者、子どもたち5人	2
地域防災力を高める事業	自治会・町内会などでの防災・減災に関する支援	通年	神戸市内及び芦屋市内	1人	神戸市内及び芦屋市内の自治会・町内会などの会員等5人	2
子どもの主体的な自助意識の向上を図るための普及啓発事業	災害予防のための普及啓発活動	通年	兵庫県内	4人	兵庫県内の子どもたち50人	48